

年頭所感



会長 宮城 信雄

平成22年の新春を迎えるにあたり、会員の皆様へ謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年8月30日に行われた衆議院選挙で自民党が歴史的な大敗を喫し民主党を中心とする新政権が誕生しました。後期高齢者医療、消えた年金、社会保障費の機械的削減、二代にわたる政権の投げ出し等長年続いた自民党政治に対する国民の不満が高まり政権交代へと大きなうねりとなっていったと思われまします。民主党はマニフェストで社会保障費の2,200億円の機械的削減は中止し医療費をOECD加盟国並みに引き上げ、医師も1.5倍に増やし後期高齢者医療は廃止するとしております。社会保障費の削減の見直しや医療費の増額は私たち医師会が要望してきたものであり、新政権に期待するものです。しかし新政権は「聖域なき削減」と称して国民公開の場でマニフェストに反して「診療報酬」は見直しと「仕切り人」に言わせております。開業医の収入は勤務医の1.7倍もあり、診療報酬は開業医から勤務医にシフトすべきだと主張をしております。地域医療崩壊の最大の原因は10年以上に渉る医療費削減にあることは多くの国民の共通認識です。診療所、病院を問わず医療経営は非常に厳しい状況に置かれているのは変わりありません。診療報酬を診療所から病院へシフトして診療所が荒廃していくと病院も立ち行かなくなります。

昨年の総選挙で日本医師会は自民党を支持したとのことで中央社会医療協議会から3人の日医推薦の委員がすべて排除されました。民主党による明らかな報復人事です。医療制度改革にしても診療報酬改定にしてもこれまで政権政党

を支持してきた日本医師会は妥協を重ねてきました。これからは医療政策に対して是は是、非は非として明確に立場を表明して交渉して行くことが出来るようになったと思われまします。日本医師会に対しては毅然とした態度で政府と交渉して行くことを望みます。

医療費をOECD国並みに引き上げるにはそれ相当の財源が必要です。医療費は公費（税金）と保険料と自己負担で成り立っています。これ以上保険料と自己負担を上げることは出来ません。残りは公費（税金）を上げるしかありません。民主党は4年間は消費税を上げないとしています。無駄を省くことや埋蔵金だけでは社会保障費を賄う財源は出てきません。財源確保のためにも消費税引き上げの論議をすぐにも始める必要があります。

昨年5月にメキシコで発生した新型インフルエンザは瞬く間に世界中に流行し8月15日には日本で初めての死者が沖縄で出ました。医師会は行政当局と密接に連携を取りながら対応をしてきました。会員の皆さまのおかげを持ちまして第一波の流行を抑えることが出来ました。第二波の大流行が新年早々に起こるかどうかが注視をしていく必要があります。

7月には西島英利参議院議員の選挙があります。医師会の代表として是非とも再び国会に送りたいと思います。皆様方の特段のご配慮の程よろしくお願い申し上げます。

平成22年寅年が会員の皆様にとりまして明るい希望に満ちた一年になりますよう祈念して年頭のご挨拶と致します。

年頭所感



日本医師会長 唐澤 祥人

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに新年を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

昨春以降、わが国でも新型インフルエンザが猛威をふるい、いまだ沈静化していませんが、世界的にみますと日本の対応は非常に的確であると評価されています。診療などにあたられている医療関係者の皆様には、改めて感謝する次第です。

昨年9月に鳩山民主党政権が発足しましたが、鳩山首相は「日本に暮らすすべての人々が、誇りを持って生活を送れる、新しい国家の形を提言していきたい」と、強い意欲を示しました。しかし、長期にわたる医療費抑制政策により、医療の各分野は完膚なきまでに疲弊させられ、医療崩壊の状況を来しています。とりわけ専門医療の中核的担い手である病院勤務医師の負担は限界点を超えました。早急に有効な具体策を講じ、地域医療提供体制を再構築することが、国民の安心・安全確保にとって不可欠です。

わが国は、明治以来、産業・経済の振興を基礎に、ひたすら国力の増大に努めてきました。その結果、あらゆる分野で便宜この上ない生活環境を築くことができ、多くの人々は、経済発展こそが、明日に向かって揺るぎない豊かな日常生活を約束するものと考えています。しかし、経済成長とともに蓄えられた膨大な資産を、グローバル化した市場の下、巧みな投機的資金運用によって瞬時に膨大な利益を獲得できるが如き幻想が振りまかれました。リーマンショック、ドバイショックなど、世界を震撼させ

た出来事は、こうした市場原理主義によるマネーゲームの象徴的帰結ともいえます。

わが国のように資源が少ない、貿易・技術立国にとっては、精緻を極める生産技術の開発能力をもつ人材育成など、科学や教育への費用を惜しんではなりません。また、地球温暖化など環境悪化を防止する取り組み、とりわけ環境に配慮した農業・林業の振興など、自然との共生にも力を注ぐことが肝要です。

将来を展望しにくい今日の状況を切り開くためには、われわれ医療関係者の積極的な行動が求められます。その立脚点こそ、わが国が世界に誇る、「いつでも、どこでも、だれも」が普遍平等に医療を享受できる国民皆保険制度であり、これは国民的財産です。健康に不安を抱えたままでは快適な生活がおくれないばかりか、明日の見通しも立ちません。「国民の生命と健康を守る」という原点に立ち返り活動するとき、国民皆保険制度は一層輝きを増すことでしょう。

日本医師会では、昨年2月に「グランドデザイン2009－国民の幸せを支える医療であるために－」を、また10月には「日本医師会の提言－新政権に期待する－」を示し、医療政策を提起しております。会員の皆様におかれましては、深いご理解と格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ここに、本年が会員の皆様にとりまして、一層安寧で躍進の年でありますよう衷心より祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。